

今そこにある危機:半導体は産業の米・頭脳・戦略物資?

Clear and Present Danger

-Semiconductor as Rice to Brain for Industry then Strategic Goods-

辻村 学

Manabu Tsujimura

株式会社 荏原製作所 フェロー
Fellow, Ebara Corporation

日時: 2021年11月4日(木) 14:55-16:40

会場: オンライン(ZOOM)

授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

概要:

総合テーマ「事業戦略と知的財産」を深堀する目的で、2019年・2020年と過去2回講演をさせて戴いた。今回はその仕上として「半導体製造装置ビジネス」に焦点を当てて論じたい。

第1回は、解散という最終手段を講じて新しい革新的な研究体制に臨んだ「荏原式オープンイノベーション」を紹介した。第2回は、解散前後の研究効率と成果を事実と数字を用いて評価した。今回は半導体製造装置を例に取り、「事業戦略と知的財産」の重要性を示したい。半導体は最近急激にその存在価値が変化している。従来は産業の米、それが産業の頭脳に昇格し、更には国家の戦略物資となった。まるで出世魚のようにその名前(位置づけ)変化してきたが、「事業戦略と知的財産」という目を通して半導体産業の過去を精査し、現在を理解し、そして未来を俯瞰してみたい。

